

### 1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4072500475
法人名	医療法人 福田病院
事業所名	グループホーム スマイルライフ
所在地	福岡県大川市大字向島1046-1 (電話) 0944-88-2828

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成19年11月28日	評価確定日	平成20年1月16日

【情報提供票より】 (平成19年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 1人, 常勤換算 3.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	約33,000 円	その他の経費(月額)	約40,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要 (平成19年10月31日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	2 名	要介護2	10 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.8 歳	最低	76 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人福田病院 柿添歯科クリニック
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家具作りで有名な町に立地する事業所は、広い敷地に平屋建ての明るい家庭的な造りである。木をふんだんに使用し、スペースが広く使い勝手をよく工夫されている。玄関横のテラスには、ガーデンチェアセットがあり、天気の良い日は利用者が日向ぼっこを楽しんでいる。広い敷地は利用者の散歩コースであり、地元との交流の場ともなっている。外出の機会が多く、利用者の心身機能の向上が伺われる。母体の病院との連携で病状管理を徹底し、受診の支援もあり、利用者及び家族の信頼と安心に繋がっている。地域に必要な事業所としての活躍が期待される。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題については、改善計画シートを作成し、成年後見制度の活用や人権教育・啓発活動等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者が骨子を作成し、全職員の意見を聴取し、集約して取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を定期的開催している。利用者の状況、現在の取り組み状況や今後の活動計画、評価への取り組み状況等を報告している。委員からの意見で、誤薬を避ける対策や家族会で認知症の勉強会を開催する等、そのでの意見をサービス向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)</p> <p>年2回、家族会を開催している。意見箱を設置し、職員は家族等の来訪時に意見等を聴くよう声かけに努めている。職員の顔写真の掲示、当日勤務職員の顔写真のボード表示や、異動を最小限にするなど、家族の要望・意見が運営に反映されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の夏祭りや文化祭等の行事に利用者と職員が参加して、地元との交流に努めている。また町内広報紙に事業所が掲載される等、地域の一員として、活動に参加している。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の中に「地域との交流をもちながら…」と、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週1回、朝礼時に全職員で復唱し、全体会議で話し合いをする機会がある。管理者と職員は理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭りや文化祭等の行事に利用者と職員は共に参加している。近隣の高等学校と交流があり、また、日常的に地元の人から果物等の差入れがある等、地元の人々と交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者が骨子を作成し、全職員の意見を聴取し、集約して取り組んでいる。前回評価の改善課題については、改善計画シートを作成し、成年後見制度の活用や人権教育・啓発活動等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的開催している。利用者の状況、現在の取り組み状況や今後の活動計画、評価への取り組み状況等を報告している。委員からの意見で、誤薬を避ける対策や家族会で認知症の勉強会を開催する等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に行政へ出向いて働きかけ、同業者との交流の場を作る等し、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度に関して利用者、家族等に入居時に説明している。また、職員は内部及び外部研修で制度について学ぶ機会があり、いつでも家族等へ説明できるように周知している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、事業所便りを発行し、家族あてに手紙や写真も一緒に手渡しまたは送付している。また、家族来訪時に利用者の状況等を報告している。金銭管理については、月1回、金銭出納表を家族等に明示し、領収書原本及び出納表のコピーを手渡し、家族の署名・押印がある。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回、家族会を開催している。意見箱を設置し、職員は家族等の来訪時に意見等を聴くよう声かけに努めている。家族等の意見で、事業所内に職員の顔写真を掲示したり異動を最小限にする等、運営に反映させている。また、事業所以外の第三者相談窓口について、家族等へ繰り返し説明している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、定期的に職員の個別面談を実施する等、異動や離職を必要最小限に抑えるよう努めている。やむを得ず代わる場合は、引継ぎ期間を十分に設け、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。また、行事時だけでなく、日常的にユニット間で交流があり、利用者との馴染みの関係づくりに努めている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>全職員は、人権教育の研修を受講している。外部研修受講後は報告書を作成し、報告会で他の職員へ報告し、周知を図っている。また、人権に関するパンフレット、研修記録、報告書を整備している。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員が日常的に学ぶことを推進している。職員は日常的に内部・外部研修を受ける機会があり、研修内容を全職員が共有できる仕組みがある。また、年2回、職員自身が自己評価を行い、意識の向上の機会としている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者とのネットワークを立ち上げ、管理者及び職員の勉強会の実施等を計画している。</p>		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に職員は自宅・病院訪問し、見学を通じて、本人が安心し、納得した上でサービスを利用できるよう支援している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家事等を共に行い、職員が知らない生活の技を利用者から教えてもらう場面がある。また、職員が利用者から労わってもらったり、励ましてもらう場面がある等、共に支えあう関係を築いている。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。意思疎通の困難な利用者には、家族等から情報を得たり、利用者が表情や行動から真意を推し測ったりして、本人本位に検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当職員や家族、関係者の気づきや意見、アイデアを反映させながら本人本意の介護計画を作成しており、本人・家族から署名・押印をもらっている。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回、ケアカンファレンスを行っている。最低6ヶ月に1回、また利用者の状況等に応じて随時介護計画を見直している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際に、本人、家族、医療関係者と連携を図り、早期退院に向けた支援をしている。本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は、職員が同行するようにしている。歯科医の往診、マッサージの受入れもしている。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医での受診を支援している。通院介助は基本的に職員が行い、受診後は家族等へ報告している。また、訪問診療も支援しており、事業所は複数の医療機関と関係を密にしている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について方針があり、事業所が対応し得る最大の支援について、入居時に家族等へ説明している。また、利用者・家族等の意向を大切にしながら、本人・家族等、かかりつけ医、職員で話し合って合意を図り、全員で方針を共有している。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議等で意識化を図り、全職員は個人情報保護法を理解して、秘密保持を周知徹底している。諸場面の声かけや対応について、職員がわからない時は管理者に聞き、必要な場合は管理者が職員に注意する等、日常的にプライバシー確保に心がけ、ケアを実践している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの体調等に配慮しながら、ドライブ・買い物・会話・図書館利用等、その日その時の本人の気持ちを尊重して支援している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事の準備、同じテーブルでの食事、片付けをしている。畑で採れたジャガイモ・たまねぎ・グリーンピースがテーブルに並び、収穫時の楽しい話題で、明るく賑やかに食事を楽しんでいる。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望にあわせて、午前・午後、毎日の入浴を支援している。入浴拒否する利用者には、タイミングをはかったり、散歩に誘いその後に入浴を勧める等、臨機応変に一人ひとりの希望に応じ、入浴を楽しめるように支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、利用者の出来る事や得意な事を把握している。大工仕事や裁縫、食事作り等、生活歴や力を活かした役割等の場面を作って共に行う等し、感謝の気持ちを伝えている。		
28	63	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や利用者の体調や希望に応じて、散歩・四季折々の花見・伝承祭りや近隣の行事、記念館や図書館、苺狩りや外食に出かける等、戸外に出かけられるよう日常的に支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関や中庭や外への出入り口は施錠していない。職員は利用者の外出傾向を把握し、1ユニットの玄関にはセンサーマットを設置して連携プレーをとり、利用者を見守っている。また、近所や区長、警察署にも理解を求め、声かけや連絡をしてもらえよう働きかけをしている。		
30	73	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成している。昼夜年1回ずつ、消防署及び地域の人々の協力得て、避難訓練を実施している。また、非常食や備品を整備している。毎日、夜勤の職員はチェックシートにより備品を点検し、安全確認をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養摂取量及び水分摂取量の記録が、全利用者分ある。また、献立は一人ひとりの嗜好を把握して取り入れ、年2回、栄養士による専門的アドバイスを受けている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、天井の採光窓から柔らかな光が差し込み、排煙窓や乾湿度計で空調調節し、職員と利用者のアイデアと工夫で四季折々の作品を飾っている。玄関横のテラス・中庭・ウッドデッキにベンチや椅子を置き、玄関・廊下・居間には季節の花々を飾っている。職員の声は、穏やかであった。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に、本人や家族等へ使い慣れた日用品や好みの物の持ち込みを勧めている。各居室は、箆笥・洋服かけ・家族写真・ぬいぐるみ・時計・化粧箱・手作り置物等を持ち込み、利用者が安心して過ごせる工夫をしている。</p>		

※  は、重点項目。